

おすすめ図書!

- ①きらきら  
谷川俊太郎 文  
吉田六郎 写真
- ②雪の結晶  
ケン・リブレクト 著

2月の和名は如月(きさらぎ)、衣更着(きさらぎ)、麗月(れいげつ)、初花月(はつはなづき)、仲春(ちゅうしゅん)など、きれいな和名ですが、2月はまだ寒い日が続きます。空から舞い降りてくる真っ白な雪に想いをさせて、雪に関する本を紹介します。

【あらすじ】

①きらきら

天然の雪を顕微鏡撮影した美しい雪の結晶写真と、谷川俊太郎の詩のような語りかけがあいまって、きれいで幻想的な写真絵本です。小さいお子さまから大人まで、雪の結晶の奥深い世界に誘い込まれます。お子さんと一緒に読んでみてはいかがでしょうか。



②雪の結晶

美しい雪の結晶の写真を250点以上掲載しています。構造や種類、しくみ、できかたなどが解説されていて、巻末には雪の結晶の観察方法が書かれています。中の写真はとてもきれいで見ごたえがあります。



3月図書館カレンダー

2021年	3月Mar.						
日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

■休館日：毎週月曜日

図書館ホームページでは、利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶

☎ 図書館 ☎ 029-897-0647

【お知らせ】

◎新型コロナウイルス感染症の影響により、3月のお話会、児童館読み聞かせは中止です。



歴史  
にふれる



市の名工 本堂家お抱えの刀工「貞照」

近年、歴史の名刀を扱った人気ゲーム「刀剣乱舞」やイケメンの「刀剣男士」のミュージカルなど、日本刀を多くの方に知る機会が増えています。日本刀の展示ケースの前で歴女(歴史好きの若い女性)が、真剣に鑑賞している姿が多く見られています。

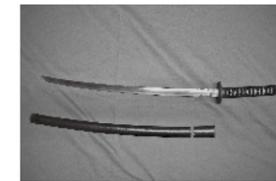
市内でも、江戸時代に著名な刀が制作されました。領主本堂家に属し、多くの名刀を制作した渡辺貞照、通称「貞照」です。渡辺貞照は、文政2年(1819年)に下稲吉村で生まれ、水戸刀の名工「平井貞俊」につき、刀づくりの技術を習得しました。嘉永5年(1852年)には、本堂家お抱えの刀工となります。そして、領主の命令で江戸に上り、西洋砲術(大砲・短筒などの制作や使用方法など)を大工原宗武に学びました。郷里に戻った貞照は、その成果を嶋木原(千

代田中学校周辺)や八幡池(中志筑長興寺付近)で披露し、多くの民衆を驚かせたと伝えられています。

現在、貞照の刀は、茨城県立歴史館に一振保管されており、波文が美しく、素晴らしい短刀です。

令和2年12月、貞照が制作した日本刀がもう一振発見されました。発見されたのは、狩野平左衛門岳也さん(宍倉)の自宅で、市歴史博物館へ寄贈されました。この刀は、長さ68.8cm、反りは1.5cmで、銘文があり「常陽志筑藩士貞照作」と刻まれています。「志筑藩」が存在したのは、明治元年(1868年)~明治4年(1971年)に限定されますので、この時期の制作と考えられます。今回発見された貞照の刀は、多くの方に鑑賞していただくために、市歴史博物館で紹介する予定です。

☎ 歴史博物館 ☎ 029-896-0017



狩野さん宅で発見され、市歴史博物館へ寄贈された、貞照のもう一振の日本刀



狩野さん(左)、貞照の子孫の渡辺祥子さん(中央)、千葉歴史博物館長(右)



あじさい  
土曜名画座

▶日時 3月6日 日 午後2時から  
※午後1時半受付・開場

▶定員 先着20人

▶場所 あじさい館[視聴覚室]

▶料金 100円

☎ 霞ヶ浦中地区公民館

☎ 029-897-0511

【鑑賞の注意点】  
マスクは必ず着用してください。

パパはわるものチャンピオン

出演 棚橋弘至、木村佳乃 [上映時間 111分]

【ストーリー】

人気レスラーだった大村(棚橋)は、膝に大ケガを負い、かつての強さを取り戻せないまま悪役覆面レスラーとしてブーイングを浴びる日々を送っていた。自分の仕事を息子に打ち明けられずにいたが、ある日、正体がばれてしまう。

あじさい館ホール展示作品紹介

【3月は「ペイントクラブ」と「公民館講座」の作品展示】

あじさい館では、市内の文化団体などが作成した絵画、写真、陶芸、工芸品の芸術作品などを月替わりで展示しています。ぜひ、ご覧ください。

▶期間 2月23日(日)~3月28日(日)

☎ 生涯学習課 ☎ 029-897-0511

投稿作品

千代田俳句同好会 子ら帰りころがってある独楽ふたつ ややひとり増える初春眩しかり 再びは戻ってこぬか冬銀河 振り袖に梅一輪の祝ひかな 白帯の声明るかり初稽古	紫陽花俳句会 どんより曇る空には冬のいろ 庭下駄をさぐりと沈め今朝の霜 食べる人もなき七草粥少し 神社へとはやる心に初明かり	出島短歌会(霞ヶ浦中学校生徒の作品) すぐ横で聞こえてくるのは怒鳴り声重くなつて我が家の空気 友達と自転車こいで一年みんなにだまって一人でバスに 暑い中走りつづけば水不足自分の心も極楽不足 休み明け運動不足になやまされば坂に登れず絶対絶命 暗い部屋寝ようと思つたその時に何かがいるぞ見逃したいな	投稿作品 ひっそりと下枝に咲ける山茶花のつゆ知らぬ間に何時か散りなむ 手を合わす普段の暮らしふたたびに筑波峰射せる初の光に 喜寿過ぎて鉄持つ我の生業を羨ましがらん哀れがる人 孫2才おしゃまに育つ誕生日ジジババ祝う手作り料理 病窓に見ゆる山なみ遠く見ゆ冬の装いといて暮れり 昭和歌なぜに寂しい風の声心の歌は酒と微睡む 白鷺が土手に寄り添い日向ぼこ お参りに母のまへゆく初天神 雲低く三三五五の梅見かな	竹村啓子 いいだいを	齊藤勝広 近藤善康 石塚清 横井正子 菅谷味子 中島良平 沽野はつ子	松島聖奈 水野谷陽智 藤井悠輔 樽見優希 佐藤聡太	福田宏通 萩原とし子 飯田功 田能幸雄	大塚隼人 今井守 福田妙子 萩原初枝 中島暉子
---	--	--	--	---------------	--	---------------------------------------	------------------------------	-------------------------------------

投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集します。3月2日(日)までに情報広報課(〒300-0192 大和田562)へお願いします。  
※応募多数の場合は掲載されない場合がありますのでご了承ください。また、音声読み上げに対応するため、漢字にはふりがなの記載をお願いします。(内容を確認する場合がありますので、電話番号もご記載ください。)